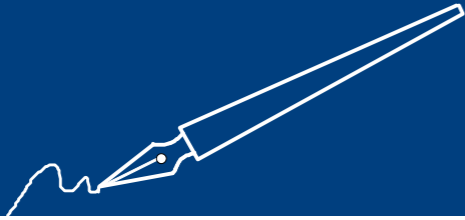


# 徳島ペンクラブ通信 192号

2022年7月15日  
(令和4年)

発行  
徳島ペンクラブ

1967年(昭和42年)創刊



ペンクラブ賞授賞式



令和4年度総会会場

## ● 徳島ペンクラブ賞授賞式

今年の総会では、ペンクラブ賞の授賞式も行われ、丁山会長から入賞された方々に賞状や賞品が贈られました。受賞者を代表して「寂聴の『場所』を検証する」で最優秀賞に輝いた田中遥泰さんが「私は昔からの寂聴ファンで、甥御さんと親しかったこともあって、家族ぐるみでお付き合いさせ

ていただいた。こんなこともあって今回の作品を書くことができました」と謝辞を述べられました。

## 第23回 とくしま随筆大賞表彰式

とくしま随筆大賞・徳島新聞社賞・優秀賞・奨励賞の表彰式を行います。  
日時 9月4日(日) 10時30分～11時30分  
場所 徳島県立文学書道館 1階ギャラリー

## 3年ぶりの総会

## 徳島ペンクラブ

6/18

コロナ禍のため1昨年、昨年と中止が続いていた徳島ペンクラブの令和4年度総会が、徳島市内のホテルグランドパレスで3年ぶりに開かれました。  
丁山俊彦会長は「感染者数がまだまだ多く落ち着かない状況ですが、世の中は既に脱コロナ。総会をやつと開催でき、会員の皆さんと直接お会いすることができました。世の中はネット、リモートの時代に入っていますが、やはり直に顔を会わせて話ができるのはうれしいことです。こういうことがやっぱり必要な、と痛感しました」とあいさつ。これからのペンクラブの在り方については「皆さんのご意見を直接聞いて、今後ど

んなことをやっていけばいいのかを考えるのが、やはりいい」と話されました。  
ペンクラブの会員数はひと頃に比べだいぶ減り、1300人程になっていますが、「会員の方を通して、もっともっと増やしてもらい、自分たちの成果を見てもらうことが大事」として今後の力添えを要請しました。

これに続いて。昨年度の事業報告、本年度の事業計画、決算・予算、会計監査の報告があり、いずれも承認されました。(4ページから7ページに詳細を掲載)

## 父の教え 喜島政行

### わたくしたちの言葉



小学生の頃、朝ご飯はラヂヲを聴きながら食べていた。朝のニュースの前に「わたくしたちの言葉」という番組があり、全国から寄せられた政治や暮らしについての意見が読まれた。耳で聞く「読者の手紙」のようなものだ。私は毎日それらの意見を楽しみに聞いていた。今も新聞を開くと投書欄を熱心に見るのはその頃の名残だろう。そしてみんな難しいことを考えていて偉いなあと感じていた。ある日父にこう言った。「とうちゃん、この番組の意見が全部実現できたら素晴らしい世の中になりますね」

### ワレエツセイ

「とうちゃん、この番組の意見が全部実現できたら素晴らしい世の中になりますね」  
ところが父の答えはこうだった。「みんなが好き勝手なことを言っているだけだから、いい世の中になんかならないよ」  
プロレス  
子供の頃はご多分に漏れずテレビでプロレスを観るのが大好きだった。力道山や吉村道明の活躍に夢中になり、少年雑誌に掲載される鉄人ルー・テーズや巨人ヘイスタク・カルホーンなどの記事をむさぼるように読んだ。銀髪の吸血鬼フレッド・ブラッシーがトランクスから凶器を出すの

を見ると、ブラウン管のこちらから大声で「レフェリー、キョーキ」と叫んだ。  
ある時、アメリカからデストロイヤーが来日することになった。デストロイヤーとは「破壊する者」という恐ろしい意味だと知った。デストロイヤーの四の字固めは、一度決まれば逃れられない必殺技だ。ひょっとしたら力道山の空手チョップも通用しないかも知れない。私は毎日気が気ではなかった。それで父に尋ねた。  
「とうちゃん、力道山はデストロイヤーに勝てるでしょうか」  
父はこう答えた。  
「デストロイヤーが日本に来るための飛行機代も、ホテルも食事も、みんな力道山が出します。ファイトマネーも力道山からもらうのです。そんな力道山にデストロイヤーが勝つわけがありません」  
結果は、四の字固めが解けなくなり引き分けた。  
ナスビの花  
そんな父がよく私に言っていた言葉がある。「親の意見とナスビの花は千に一つも仇がない」  
つまり、親の教えは絶対に間違いがないから疑わずに従え、というものだった。  
今思えば、確かに父の教えに間違いはなかった。しかし、はたしてそれが正しい教育だったのかどうかは分からない。

## ほんの

### 散道

出版された方はご連絡ください



『天使の歌声 徳島少年少女ものがたり』  
徳島少年少女合唱団は県内外の公演だけではなく、海外公演も重ね、そのハーモニイは天使の歌声と呼ばれ、高い評価を受けてきた。温かな親しみやすい文章で、団員と指導者・指揮者からみた合唱団の歩みを読者に語りかける。全国の書店で販売中。  
●四六判 208頁 定価1650円(税込)  
●著者 竹内紘子  
●発行・編集 工房ノア  
『人形のムラ』  
幸福を約束する「三番まわし」阿波木偶箱まわし保存会が受け継いだ祝儀芸の阿波木偶「三番まわし」。「えびすまわし」などを多彩なカラー写真とキャプションで紹介している。また、調査研究で得た資料を「資料の輝き」として紹介し、門付け用具163点の詳細を記すなど史料価値も高い。  
●A5判 130頁  
●非売品  
●発行所 阿波木偶箱まわし保存会・阿波木偶文化資料館  
●文・写真撮影 辻本一英

『あはでこがる』 松田一美短歌全集  
短歌を詠み始めて53年。青春・朱夏・白秋と季を巡り、玄冬に差し掛かった歌詠みの集大成というべき一冊。表題の「あはでこがる」は「閑吟集」の「身は鳴門舟かや逢はで焦がる」(阿波で漕がる)に因る。  
●A5判 642頁  
●非売品  
●著者 松田一美  
●装丁 高木純  
●発行 俳人協会

## あとがき

本号では、編集から発行までの作業を、担当者が力を合わせて試行してみました。慣れない故の稚拙さに汗顔の至りですが、どうか発行にまで漕ぎ着けられたのは、会員の皆様方の期待と協力の賜物です。紙面は、回を重ねるうちにだんだん良くなってゆくでしょうから、それまでのご辛抱をよろしくお願い申し上げます。編集ならびに発行担当者一同 敬白

令和4年（2022）度 徳島ペンクラブ事業計画

令和4年4月	初旬	第21回とくしま随筆大賞 募集開始	公募チラシ作成配布 広報・各種マスコミ・各図書館・学校関係他
	29日	ペンクラブ通信 ① No188 発行	ペンクラブ賞の発表 ペンクラブ総会の案内
5月	6月	県民文化祭 企画委員会	会場 Hグランドパレス 講演 ペンクラブ賞表彰式 総会 ランチ会食
		徳島ペンクラブ総会 10:30～	
7月	下旬	県民文化祭 企画委員会 とくしま随筆大賞 応募締切	応募 6/30 当日消印有効
	21日	とくしま随筆大賞 審査 ペンクラブ通信 ② No189 発行	一次審査 「ペンクラブ選集 part40」の原稿募集 特集案内
8月	10日	とくしま随筆大賞 審査	二次審査
	下旬	とくしま随筆大賞 発表 「ペンクラブ選集 part40」 県民文化祭 企画委員会	入賞者発表（徳島新聞掲載・受賞者に連絡） 特集ページ完成
9月	4日	とくしま随筆大賞 表彰式 10:30～11:30	県立文学書道館 1F ギャラリー 表彰・講評・朗読
		ペンクラブ通信 ③ No190 発行	とくしま随筆大賞 入賞者発表 県民文化祭イベントの案内等
11月	5日	鉄道開業150年記念 イベント「徳島各駅停車の旅」11:30 第24回県民文化祭 分野別フェスティバル 13:30～ シンポジウム	於 徳島市シビックセンター4F さくらホール 前日4金13:00～ 設営・リハーサル  於 徳島市シビックセンター4F さくらホール テーマ「徳島の未来の文芸を考える PART II」
11月		秋の文学旅行	（新型コロナウイルス感染拡大のため中止）
12月	中旬	「徳島ペンクラブ選集 part40 発刊 （発行日は令和5年1月）」	同封する書類 ペンクラブ賞の投票依頼・投票用紙（ハガキ） 3月予定の研修会・ペンクラブ賞表彰式の案内
令和4年3月		研修会	講演・ペンクラブ賞表彰式
		とくしま随筆大賞 企画会議	募集要項チラシ作成 後援・助成金の申請

その他

- ① 役員会：毎月1回実施しています。  
基本的に第3土曜日 10:00～12:00（会場の都合で変更の場合もあります）
- ② 各事業については企画委員会を開いて原案を作成し、役員会で決定します。
- ③ 新型コロナウイルス感染状況により、各事業を取りやめまたは延期になる場合もあります。

なお11月5日には左記のとおりパネル展を予定しており、駅の写真と解説をパネルにします。そのため、執筆者の皆さんには、当初の締め切り9月末日を1か月早めて8月末日に訂正させていただきますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。内容は各駅に対する想い出、周辺の名所旧跡などなんでも結構です。一駅に写真を1～2枚を添えてください。

（前ページより）

★原稿提出の締め切り 8月末日

★掲載負担金 半ページか一ページが基本。半ページ1500円、一ページ3000円の掲載負担金が必要です。

★送付先

〒771 1252 板野郡藍住町矢上字北分41の20  
栗谷 健 宛  
mail takeshi-a@md.pikarane.jp  
電話 088 6921 3333  
FAX 088 692 1221  
※原稿は必ずコピーをとっておいってください。

特集「とくしま各駅停車の旅」パネル展のお知らせ

思い出をたどり紡ぐ

TOKUSHIMA 各駅停車の旅

半世紀前には、東京オリンピックピックや大阪万博のポスターが貼られたふるさとの駅舎。出征の息子を送り出し、集団就職で子らを見送った玄関口。都会から帰省の孫を迎えたプラットホーム。ここには数えられないほどのドラマがたどられてきました。日本鉄道開業150年を機に、ふるさとの駅をエッセイと写真で紹介します。県内76駅の写真展示と朗読を行います。また、フルート演奏と箱まわしのコラボレーションをお楽しみいただきながら、あなたの記憶をひもひもとみてみませんか。

出演 岩崎由佳さん（神奈川県在住・鳴門市出身のフルーティスト）  
中内正子さん・南 公代さん（阿波木偶箱まわし保存会）  
日時 令和4年11月5日（土） 10時30分～12時30分  
10時 受付開始  
10時20分 ウェルカム・フルート演奏  
10時30分 開会行事  
場所 徳島駅前シビックセンター4階  
「くわらホール」  
※入場無料 ご家族やご友人をお誘いいただき  
お気軽に、ご観覧ください。

● 第24回県民文化祭分野別フェスティバル開催

令和4年11月5日午後1時30分から、徳島駅前シビックセンター4階ホールで、第24回県民文化祭分野別フェスティバルを開催します。「徳島の文芸の未来を考えるPart II」と題して、昨年と同様、西池冬扇副会長を中心に、パネラーの皆さんとのシンポジウムを予定しています。  
※ 詳細につきましては徳島ペンクラブ通信193号（9月発行）に掲載します。

✿ 受賞おめでとうございます

徳島県表彰

本田 守さん

○ 春・秋の文学散歩

コロナ禍のため中止になりました。



## 令和4年度 収支予算書(案)

(令和4年4月1日～令和5年3月31日) 徳島ペンクラブ

A 収入総額 2,144,227円  
 B 支出総額 2,144,227円  
 C 差引額 0円

### A 収入の部

科目	本年度予算額	内訳
繰越金	102,227	
会費収入	570,000	令和4年度会費 5,000円×114人 570,000円
負担金収入	570,000	選集 Part40 掲載料 65人 570,000円
助成金収入	712,000	県民文化祭助成金 300,000円 徳島新聞社会文化事業団 120,000円(選集記念号) 徳島新聞社 100,000円(随筆大賞) 徳島県文化振興財団 192,000円(パネル展)
協賛金収入	150,000	協賛金 50,000円 寄付金 100,000円 150,000円
雑収入	40,000	ペンクラブ選集等売上代金 40,000円
計	2,144,227	

### B 支出の部

科目	本年度予算額	内訳
事業費	1,300,000	選集 Part40 印刷代・発送費 800,000円 ペンクラブ通信印刷代・発送費 100,000円 随筆大賞関係 200,000円 講演会・研修会・ペンクラブ賞 200,000円
通信費	25,000	発送費・会員連絡用 25,000円
会議費	25,000	理事会・役員会等会場費 25,000円
諸会費	11,000	徳島市文化協会会費等
事務費	10,000	事務用品代・インク代他
特別事業費	380,000	県民文化祭参加事業 380,000円
パネル展費	280,000	「各駅停車の旅展」フルート演奏・でこまわし等
雑費	11,000	振込手数料等
予備費	102,227	
計	2,144,227	

\*各科目間の流用を認める



彼は明治36(1903)年に貧しい農家に生まれ、尋常小学校卒業後、藍玉を扱う地元の奥村商店に勤め、14歳のときから東京の支店で働くようになった。小さいときから俳句が好きで五・七・五にとらわれな自由律俳句の荻原井泉水が選者をしてきた東京の日

## 徳島の隠れた無形文化遺産 俳人橋本夢道を紹介 西池冬扇さん講演

西池さんは最後に①夢道忌の全国的規模への発展②夢道中心の展示施設などのほか、産業との連携を図り、「無礼なあんみつ」なんてどうだろうなどと提案しました。

「無禮なる妻よ毎日馬鹿げたものを食はしむ」と「こんなに可愛い」妻が「無禮な妻」に変わるが、この句は食糧難だった当時の状況をよく捉えている。

よく妻の静子を題材にしていたが、秘密裏の結婚だったことを店に知られたこともあって、彼は首に「月ヶ瀬」で力を発揮。あんみつが大当たりし、「みつ豆をギリシヤの神は知らざりき」を電車の中吊り広告にしている。

刊紙「萬朝報(よつぎちやうほう)」に投句。「妻よお前はなぜこんなに可愛いんだろうね」と詠んだ句は有名だ。

## ペンクラブ選集 Part 40 作品募集

### ● 一般原稿募集

例年通り、随筆や評論、短編小説などの散文、俳句や川柳、連句、短歌、現代詩などの韻文を募集しています。なお選集 Part 40 の記念号でもありますので多くのご応募をお待ちしています。

★原稿締め切り 9月末日(厳守でよろしく願います)

★掲載負担金 見開き2ページ7000円(追加は2ページごと4000円)です。

★送付先  
〒771 4262 徳島市丈六町長尾62の15  
関 真由子 宛  
mail mayu0204@ma.pikara.ne.jp  
電話 FAX 088 645 1840

### ● 特集「とくしま各駅停車の旅」

「とくしま各駅停車の旅」と題して、県内の各駅を会員の方に紹介していただくことになりました。先に広くご希望の駅を募ったところ、多くの人から希望が寄せられ、現在すべての駅の担当を決定することができました。(次ページに続く)

### 令和3年度 収支決算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日) 徳島ペンクラブ

A 収入総額 1,721,459円  
 B 支出総額 1,619,232円  
 C 差引額 102,227円 (次年度へ繰越)

#### A 収入の部

科目	決算額	内訳	備考
会費収入	565,000	令和3年度会費 5,000円×112人 560,000円 10月以降入会 2,500円×2人 5,000円	
負担金収入	558,000	ペンクラブ選集掲載料 558,000円 3,000円×3人 5,000円×1人 7,000円×33人 9,000円×1人 10,000円×8人 11,000円×1人 12,000円×3人 13,500円×1人 14,000円×2人 15,000円×1人 17,000円×1人 34,000円×1人 39,500円×1人	
補助金収入	1,204,000	県民文化祭助成金(R2) 684,000円 徳島新聞社 220,000円 県民文化祭助成金(R3) 300,000円	
協賛金等収入	160,000	協賛金 148,000円 寄付金 12,000円	
本売上収入	33,840		
雑収入	2	預金利息 2円	
借入金返済	△799,383		
計	1,721,459		

#### B 支出の部

科目	決算額	内訳	備考
事業費	1,239,313	ペンクラブ選集印刷代・発送費等 836,341円 ペンクラブ通信印刷代・発送費等 130,878円 (188・189・190号) 随筆大賞関係 201,112円 その他 名簿調査・ペンクラブ賞賞金・レターパック 70,982円	
通信費	22,992	切手・封筒 22,992円	
会議費	25,673	役員会・企画委・編集会議・コピー代 25,673円	
諸会費	11,000	徳島市文化協会会費・まゆやま掲載料 11,000円	
事務費	1,943	事務用品(用紙・ファイル) 1,943円	
特別事業費	309,416	県民文化祭参加事業(徳島の未来の文芸を考える) 小冊子印刷代 215,490円	
雑費	8,895	振込手数料・郵送通知料金等 8,895円	
計	1,619,232		

令和3年度の収支決算について監査の結果、適正に処理されていたことを認めます

令和4年4月15日

会計監査

栗谷 健

会計監査

山本 枝里子

### 令和3年(2021)度 徳島ペンクラブ事業報告

令和3年	初旬	第21回とくしま随筆大賞 募集開始	公募チラシ作成配布 広報・各種マスコミ・各図書館・学校関係他
		ペンクラブ通信 ① No188 発行	ペンクラブ賞の発表 ペンクラブ総会の通知 文学散歩の案内
4月	29日	文学散歩	鳴門市 撫養街道周辺 (新型コロナ感染拡大のため中止)
5月	16日	徳島ペンクラブ総会 13:30~15:30	於 阿波観光ホテル (新型コロナ感染拡大のため中止)
6月	30日	とくしま随筆大賞 応募締切	当日消印有効
	下旬	県民文化祭 企画委員会	
7月	21日	とくしま随筆大賞 審査	一次審査
		ペンクラブ通信 ② No189 発行	「ペンクラブ選集 part39」の原稿募集 特集案内
	下旬	県民文化祭 企画委員会	
8月		とくしま随筆大賞 審査	二次審査
	下旬	とくしま随筆大賞 発表	入賞者発表(徳島新聞掲載・受賞者に連絡)
		「ペンクラブ選集 part39」 企画開始	
		県民文化祭 企画委員会	
9月	12日	とくしま随筆大賞 表彰式 10:30~12:00	徳島新聞社会議室 表彰・講評・朗読
	18日		役員会の席上、ペンクラブ賞表彰式
		ペンクラブ通信 ③ No190 発行	とくしま随筆大賞 入賞者発表 県民文化祭イベントの案内等
10月	16日	第23回県民文化祭 設営等 10:00 分野別フェスティバル 13:30~ シンポジウム	於 徳島市シビックセンター 4F さくらホール テーマ「徳島の未来の文芸を考える」
11月		秋の文学旅行	(新型コロナ感染拡大のため中止)
12月	下旬	「徳島ペンクラブ選集 part39」 発刊 (発行日は令和4年1月)	同封する書類 ペンクラブ賞の投票依頼・投票用紙(ハガキ) 3月予定の研修会・ペンクラブ賞表彰式の案内
令和4年		研修会	講演・ペンクラブ賞表彰式 (新型コロナ感染拡大のため中止)
3月		とくしま随筆大賞 企画	募集要項チラシ作成 後援・助成金の申請

その他

- ① 役員会：毎月1回実施しています。  
基本的に第3土曜日 10:00~12:00(会場の都合で変更の場合もあります)
- ② 各事業については企画委員会を開いて原案を作成し、役員会で決定します。
- ③ 新型コロナ感染状況により、各事業を取りやめまたは延期になる場合もあります。